

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	岩手医科大学医療専門学校
設置者名	学校法人岩手医科大学 理事長 祖父江 憲治

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
歯科衛生専門課程	歯科衛生学科	夜・通信	2,570 時間	240 時間	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

シラバスに掲載、ホームページで公表 https://www.iwate-iryo-dh.com/blank-7

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	岩手医科大学医療専門学校
設置者名	学校法人岩手医科大学 理事長 祖父江 憲治

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページで公表 <https://www.iwate-med.ac.jp/education/information/r6/>
→「役員等名簿」

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	(現職) 一般財団法人 役員	2024. 2. 23 ～ 2027. 2. 22	担当する職務内容 人事関係
非常勤	(現職) 株式会社 役員	2024. 2. 23 ～ 2027. 2. 22	担当する職務内容 総務関係
非常勤	(現職) 株式会社 役員	2024. 2. 23 ～ 2027. 2. 22	担当する職務内容 財務関係
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	岩手医科大学医療専門学校
設置者名	学校法人岩手医科大学 理事長 祖父江 憲治

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 教育理念、教育目標、「歯科衛生学教育コア・カリキュラム2018改訂版」に沿って、臨地・臨床実習を中心としたカリキュラムを策定している。授業計画書(シラバス)は、12月～2月頃にかけて担当教員が作成し、授業内容、到達目標、成績評価の方法、使用教科書等を記載している。作成したシラバスは、年度始めの学年オリエンテーション時に配布し、内容を説明している。また、ホームページにおいて電子データを公表している。実務経験のある教員等による授業科目は、掲示にて学生に周知するとともにシラバスにも掲載している。専任教員は、歯科衛生士学校養成所指定規則に則り、全員が業務経験4年以上の歯科衛生士である。専門科目の多くは、岩手医科大学附属病院の医師・歯科医師等が担当し、その実務経験を十分授業に活かしつつ実践的教育を行っている。	
授業計画書の公表方法	ホームページで公表する。 https://www.iwate-iryo-dh.com/blank-7
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>歯科衛生学科における学修成果については、学則及び歯科衛生学科試験規程に則り、厳格かつ適正に評価を行っている。第1～第2学年は年2回(前期・後期)、第3学年は年1回の定期試験を厳正に実施し、実技、実習記録、小テスト、授業態度などを含めて総合的に評価している。試験日や成績評価の方法はシラバスに明記している。受験資格や合否基準等は歯科衛生学科試験規程において定めている。授業から評価までの流れについて、入学時に学生と保護者へ説明し周知を図っている。</p> <p>各科目の評点は100点を満点とし、100～80点(A)、79～70点(B)、69点～60点(C)、60点未満(D)とする。本試験、再試験とも60点以上を合格とするが、再試験の評点は60点とする。各科目の評点は事務室がとりまとめて資料を作成し、教員会議において進級判定及び卒業判定を行っている。C以上の評価を得た者は当該科目の所定の単位を付与される。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学生の学習意欲向上を図ること、教員の学習指導等に活用することを目的として、全履修科目における評価点数の平均点(年度単位)を客観的指標としている。成績判定後は、学年担任から学生個々に成績を開示し、必要な指導と適切な助言を行っている。当該指標の設定については、シラバスに掲載されており、ホームページでも公表している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>シラバスに掲載、ホームページで公表。 https://www.iwate-iryodh.com/blank-7</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

「人類福祉への貢献を基調とし、専門職業人として実践できる能力をもった人材を育成する」という教育理念のもと、歯科衛生士に必要な専門知識及び技術を修得し、以下の能力を身につけた人材を育成することを教育目標としている。

- ・ 歯科衛生士に必要な専門知識と技術に裏付けられた実践力を養成する。
- ・ 歯科衛生士としての使命を理解し、倫理観をもった医療人を育成する。
- ・ 多職種連携に必要なコミュニケーション能力を養成する。
- ・ 時代のニーズに対応するための向上心と学習習慣を培う。

卒業要件については、学則第 14 条「第 10 条に定める課程を修了した者には卒業証書を授与する。」と定めている。また、歯科衛生学科試験規程第 10 条に「学則第 10 条に定める所定の課程を修了した者は、教員会議の議を経て学校長が卒業を認定する。」と定めている。卒業判定は、教員会議の議を経て、校長が認定する。卒業不可と判定された者は留年とする。

学則と歯科衛生学科試験規程は、シラバスに掲載されており、ホームページでも公表している。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

シラバスに掲載、ホームページで公表。
<https://www.iwate-iryu-dh.com/blank-7>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	岩手医科大学医療専門学校
設置者名	学校法人岩手医科大学 理事長 祖父江 憲治

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.iwate-med.ac.jp/education/information 情報公開→各種データ「令和5年度」→財務情報「貸借対照表」
収支計算書又は損益計算書	https://www.iwate-med.ac.jp/education/information 情報公開→各種データ「令和5年度」→財務情報「事業活動収支決算書」
財産目録	https://www.iwate-med.ac.jp/education/information 情報公開→各種データ「令和5年度」→財務情報「財産目録」
事業報告書	https://www.iwate-med.ac.jp/education/information 情報公開→各種データ「令和5年度」→財務情報「事業報告書」
監事による監査報告（書）	https://www.iwate-med.ac.jp/education/information 情報公開→各種データ「令和5年度」→財務情報「監査報告書」

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療分野		歯科衛生専門課程	歯科衛生学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3,127 単位時間/単位	1196 単位時間 /単位	247 単位時間 /単位	1684 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		86人	0人	6人	74人	80人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 教育理念、教育目標に掲げた人材を育成するために、教育課程を「基礎分野」「専門基礎分野」「専門分野」「選択必修分野」の4つに分け、基礎から専門分野まで体系的かつ主体的に学習できるよう編成し、科目の特性に応じて、形式（講義・実習・演習）を設定している。医療系総合大学の系列校としての強みを活かし、臨地・臨床実習に重きをおいたカリキュラムを策定している。

成績評価の基準・方法
(概要) シラバスに、授業科目ごとに学修成果を評価するための基準を明示している。試験は、筆記、レポート提出、製作物の提出等、担当教員が適当と認めた方法により行う。評価は100～80点(A)、79～70点(B)、69点～60点(C)、60点未満(D)とする。
卒業・進級の認定基準
(概要) 学期末に定期試験を行う。所定履修時間の2/3以上出席、各教科それぞれ60点以上得たものを合格とする。その学年に定められた試験に合格しなければ進級できない。所定の教育課程を修了した者は、教員会議の議を経て学校長が卒業を認定する。
学修支援等
(概要) 希望に応じて、個別指導・補習を行っている。臨床・臨地実習の際には、教員と受入先の施設指導者が密に連絡を取り合うことで、適切な助言を行っている。国家試験対策として、1年次から全国模試を受けさせ合格への意識を高めている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
38人 (100%)	0人 (0%)	37人 (97.4%)	1人 (2.6%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容) 学生の目指す方向性を確認しながら、適性・能力にふさわしい職場を選択できるよう支援している。岩手県歯科医師会や歯学部同窓会の全面的バックアップがある。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 歯科衛生士国家試験の受験資格			
(備考)（任意記載事項） 歯科衛生士不足を背景に、2024年卒学生1人あたり17人の求人があった。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
100人	3人	3%
(中途退学の主な理由) 学業不振、進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 習得度・理解度に合わせた補習および個別面談、三者面談		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
歯科衛生学科	250,000 円	500,000 円	250,000 円	その他：実験実習費 (年間)
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
歯科衛生学科特待生制度：第2学年及び第3学年の在学生のうち、学業人物ともに優秀な者、各学年3名以内。毎年度の予算の定めるところにより授業料の一部を免除する。				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づいて設定した評価項目・指標により、年1回、自己点検・自己評価を実施し、報告書はホームページで公表している。 https://www.iwate-iryo-dh.com/blank-7		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校が実施した自己評価の結果を基本として、学校外の関係者に、教育理念、教育課程、進路・就職、学生募集などの項目について評価をしてもらう。この取り組みを通じて、関係業界等と学校相互の課題やニーズを共有し、職業教育の質向上や学校運営の改善に活かしていく。学校関係者評価委員会規程に則り、職能団体、卒業生等から委員を選任し、制度の概要や評価の目的を理解していただいたうえで、評価を依頼する。寄せられた意見は委員間で共有し、それらを取りまとめて報告書を作成している。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
歯科医院	2024. 4. 1～2026. 3. 31	歯科医師
歯科衛生士会	2024. 4. 1～2026. 3. 31	歯科衛生士
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校関係者評価報告書はホームページで公表している。 https://www.iwate-iryo-dh.com/blank-7		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページアドレス https://www.iwate-iryo-dh.com/

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	H103320100135
学校名 (〇〇大学 等)	岩手医科大学医療専門学校
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人岩手医科大学 理事長 祖父江 憲治

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者 (家計急変による者を除く)		8人	7人	8人
内訳	第Ⅰ区分	4人	4人	
	第Ⅱ区分	3人	3人	
	第Ⅲ区分	1人	0人	
	第Ⅳ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者 (年間)				0人
合計 (年間)				8人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号、第4号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人		
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	0人		
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人		
「警告」の区分に連続して該当	0人		
計	0人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
年間	0人	前半期		後半期

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。） 及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)	0人		
GPA等が下位4分の1	0人		
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人		
計	0人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。